

### 長久手町との交流を宣言

## 宮川町長、宣言文に調印



加藤長久手町長と固い握手を交わす宮川町長

の日のために製作した特製記念品を贈呈しました。また、記念アトラクションとして、「田立花馬祭り」の行列実演を保存会のみなさんに行なっていたいただきました。今後は、人的なつながりをはじめ、観光、産業など多方面で交流が活発になることが期待されます。

愛知県長久手町とは、これまで木曾川の水をはじめ幾つかの繋がりをきつかけに交流が進められてきましたが、10月21日に「南木曾町・長久手町交流宣言」を行い、両町長が宣言文に署名を行ないました。



(上) 通常の3倍以上もあるひのき笠などを記念品として贈りました  
(左) 田立花馬保存会のみなさんに参加していただき、会場は盛り上がりました

## 写真でみる できごと

### 南木曾町の教育・文化の拠点

## 南木曾中学校 改築工事が終了！



平成16年6月から始まった南木曾中学校の改築工事は、一連の工事が全て終了しました。

主な工事の概要は、管理・校舎棟（教室・視聴覚室・音楽室・職員室・校長室等）や給食棟の改築工事、RC校舎の地震補強及び大規模改造工事、屋外環境整備（中庭）工事、屋外運動場照明施設整備（校庭夜間照明）工事で、事業総額は約11億5千万円になりました。

去る10月27日には、完成披露を兼ねた見学会と竣工式典を行いました。式典には関係者多数が出席され、生徒による合唱や演奏の発表もあり、盛大に行われました。

今後は、学校教育の場だけでなく、広く生涯学習の分野でも利用されるなど、町民の文化センターとしての役割も期待しています。

平成14年度の耐震診断、15年度の設計を経て、10月には全ての工事が終了しました。工事期間中は学校周辺の方々や関係する皆様には多大なご協力をいただきありがとうございました。

# 南木曾中学校3年生が 森林体験学習



指導を受けてから間伐作業に入ります

南木曾中学校3年生による森林体験学習が、10月26日に田立長根分収林で行われ、間伐作業を体験しました。



作業を終えての感想を次のようにいただきました。

## 1組 勝野 渉

よく森が減ってきている事が問題になっていたので、間伐という言葉の意味を知らなかった僕は、木を切ってしまったら環境に悪いと思っていました。しかし話を聞くと、木と木との間隔を空けることで残った木が大きくなる事や、日光が地面に射し込む事で地面に草が茂り健康な森になるといふ事が分かりました。間伐の方法は、初めに受け口を切り、次に追い口を切ることで受け口の方向に木が倒れる事がわかりました。実際に間伐をしてみて、初めはうまく切れなかつたけど、途中で慣れてきてすこしテンポよくできる様になって楽しくなつたけどかなり疲れしました。

間伐を何日もやる事は僕にはたえられないかもと思いましたが、

## 1組 鈴木 沙也香

初めてのことでだらけですごく大変だったけど、分かりやすく教えてもらってやったので良かったです。山の中は足場が悪く、その中で木を切ろうとしたので何回も転びそうになつたけど、頑張つてやって5本くらい木を切れたので良かったです。

私たちが間伐を行ったことで、他の木がすくすくと育ってくれるといいなあと思いましたが、森林体験学習に行つて、間伐をする意味と、木を切るには、受け口をまず切つてから追い口を切ることが分かりました。それに行く前はけっこう気楽な気持ちだったけど、実際にやってみるとけっこう危険がともなうことが分かりました。

## 2組 古瀬 里夏

私は、森林体験で間伐について学ぶまでは何のために間伐をするのか正直よく分かりませんでした。でもこの体験で、間伐は大きくて良い木を育てるためには必要なことな

んだということを学ぶことができました。

実際に木を切ってみると、そこに光があたつて本場に明るくなつていたのですごいいいと思いました。作業は大変だったけど、やりがいがあったし、楽しかったです。

これからは間伐材の利用などについても考えていけたらいいなと思いました。

## 2組 松瀬 幸子

森林体験を行つて私が一番感動したことは、木を切つたあと、その場所が明るくなつたことです。たつた1本、木を切つただけで太陽の光がたくさん入り込み、とても明るくなりました。

曲がつてしまった木、上の方が折れてしまった木、クマにだめにされてしまった木などたくさんさんの木を切りました。こうすることで少しでも山のためになつているのかと思うとうれしかったです。

間伐は簡単な仕事ではありません。体験してみてもわかりました。山の手入れをしてくださつていらっしゃる方々のことを心に留めて私達もできることをやっていきたいです。とても大変だったけど、友

達と協力しとても良い間伐作業森林体験となりました。

森林は、地球温暖化防止や土砂崩落等の災害防止などに役立っています。事前学習や間伐作業を通じて、森林の多面的機能を維持していく必要性や苦勞などを感じてもらえたのではないのでしょうか。

また、今回は間伐した材を搬出し、1年生が毎年行つている椎茸植菌のほだ木の屋根を作り直しました。中学生の協力により、腐らないよう皮を剥いて、しっかりとした屋根が出来上がりました。間伐材有効利用の良い体験ができたと思います。中学校へ行かれた際は是非こちらにもご覧ください。



椎茸植菌のほだ木保護のために間伐した木で屋根を作りました